



CITROËN **C4** PRESS INFORMATION



最新テクノロジーで磨き上げられた シトロエンの快適性

2010年、シトロエンはC3とDS3というふたつのコンパクトモデルを発売しました。

ふたつのニューモデルはかつてないほど上質かつ安全になりましたが、快適な乗り心地、運転する喜び、スタイリングの美しさ、先進のテクノロジーなど、シトロエンならではの個性はまったく失われていません。

そして2010年はC3とDS3が牽引役を務め、シトロエンの国内登録台数は前年比+76%と高い伸びを示しました。

この目覚ましい成長率は、C3とDS3に込められたシトロエンの独創性とコアバリューが幅広く支持されたことを物語っています。

今回、7年振りのフルモデルチェンジを受け、満を持して輸入車激戦区のCセグメントに投入されるNew C4は、フランスを始めとするヨーロッパ圏内においてもシトロエンのボリューム・モデルと位置づけられており、戦略的に非常に重要な役割を担っています。

しかし、そこで我々が追い求めたのは“普遍性”ではなく、あくまでも“シトロエンらしさ”でした。

New C4には、シトロエン本来の魅力がぎっしりと詰まっています。

その一方で、エクステリアやインテリアはかつてないほど上質に仕上げられ、安全性は目覚ましい進化を遂げました。

ラインナップされるのはNew C4の個性を凝縮し、充実した装備を盛り込んだSeductionと、ハイグレードなデザインと装備をまとったExclusiveの2タイプ。ボディはいずれも使い勝手のいい5ドア・ハッチバックとなります。

快適性、安全性、上質さ、そして美しさの点で新たな基準を打ち立てたNew C4。

シトロエンの新時代を切り開くニューモデルが、いま、ベールを脱ぎます。



競合車が林立するCセグメント

実用的な居住空間とラゲッジルームを備えたモデルが手頃な価格で手に入るCセグメントは、国内輸入車市場における最激戦区のひとつです。

このセグメントではVWゴルフが圧倒的な人気を誇っているほか、メルセデス・ベンツAクラスならびにBクラス、BMW1シリーズ、アウディA3などドイツ系プレミアムブランドがメジャープレイヤーとして存在しています。

これらの数ある競合車に決して引けをとらないNew C4を

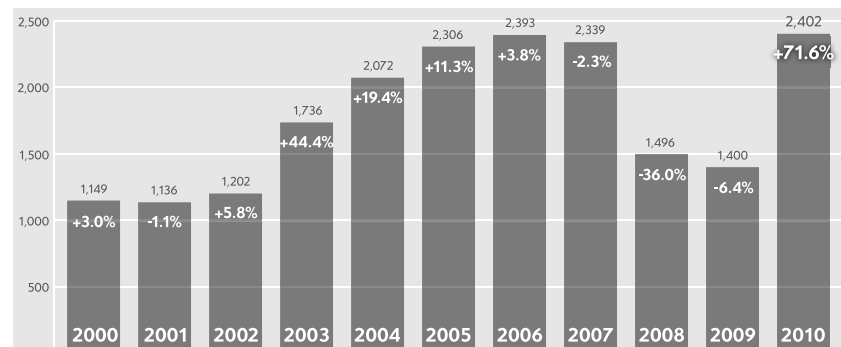
私たちは、輸入車選びの際の候補に加えていただくことを目指しています。

ここで大きな支えとなるのがC3ならびにDS3の成功です。

2010年はこのふたつのコンパクトモデルがシトロエンのセールスをリードし、日本国内において飛躍的に登録台数を伸ばすことに成功、ブランドの認知度向上を果たしました。

私たちは、New C4の導入によりシトロエンのブランド認知度をさらに高めていくとともに、引き続き輸入車市場におけるマーケットシェアの拡大に取り組んで参ります。

■ シトロエンの国内登録台数推移(2000年~2010年)



クサラの後継モデルとして2004年に登場した初代C4。このモデルからシトロエンは新世代デザインへと移行しました。

数々の成功で彩られたC4の歩み

実用性の高い室内スペースを個性的なスタイリングで包み込んだ先代のシトロエンC4は、シトロエン・クサラの後継モデルとして2004年11月にヨーロッパでデビューし、世界中で100万台を販売するスマッシュヒットとなりました。

日本で発売されたのは2005年5月のこと。サルーンとクーペの2モデルでデビューを飾ると、2007年にはMPV(マルチ・パーパス・ビークル)のシトロエンC4ピカソも加わり、名実ともにシトロエンの中核モデルとしてのポジションを築き上げました。

また、C4 WRCは2007年から世界ラリー選手権(WRC)にも参戦、セバスチャン・ローブはこのモデルで3年連続チャンピオンに輝きました。New C4はこの成功を引き継ぎ、さらに発展させる重要な役割を担っています。このため環境性能も重視。天然素材、非金属のリサイクル素材、バイオマテリアルなどからなるグリーン素材の使用を、プラスチック全体の15%に相当する量まで引き上げたほか、大幅な軽量化も実現しました。また、ヨーロッパではe-HDiマイクロハイブリッド・テクノロジーを搭載し、CO2排出量を99g/kmに減少させたモデルも登場しています。

STYLING



スタイリッシュかつエレガント、そして上質感の漂うデザイン

「スペース、サイズ、多用途性、ユーザーフレンドリーなデザイン…。

New C4はこれらをすべて持ち合わせています」 シトロエン・スタイルマネージャー マーク・パンソン

シトロエンC5に端を発する新しいコンセプトでデザインされたNew C4について、シトロエンのスタイル・マネージャーを務めるマーク・パンソンは次のように語っています。

「New C4はスタイリッシュかつエレガント、そして上質なデザインをテーマとしました。ボディサイドを流れるラインは水平基調で、全体的なフォルムもこのデザインがもっとも生き生きとするよう最適化されています。ボディとホイールが寄り添っているように見せることで、ホイールがパワートレーンのすぐ近くにあることを連想させ、これがアスリートのような力強さを表現しています」

「インテリアのレイアウトは合理的に仕上げました。柔らかな感触の素材に覆われたダッシュボードは、より上級なモデルを思わせるものです。エアコンディショナーを始めとするセンターコンソールのデザインをご覧いただければ、New C4のデザインがいかに細部までこだわり抜いたものであるかがおわかりいただけるでしょう。3つのパートからなるメーターパネルのデータ表示にすべて「光り」を用いたのは、機能を満たすだけでなく、見るたびにドライバーに喜びを感じてもらうための工夫であり、まったく新しい表現方法であると自負しています」

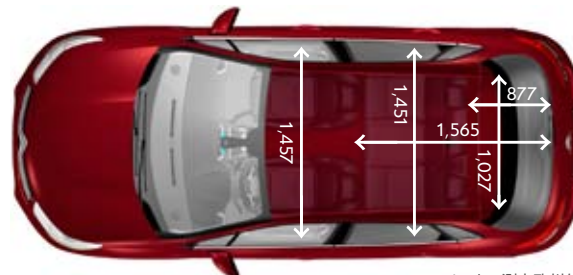
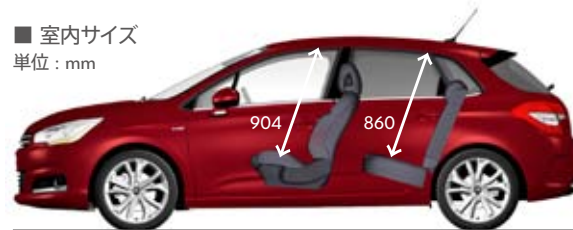


シトロエンのスタイル・マネージャー、マーク・パンソン。「New C4が独創的かつ力強いデザインであることはどなたにも認めていただけたと思います」

■ ボディサイズ ()内は旧型C4との比較
単位: mm



■ 室内サイズ
単位: mm



※メーカー測定欧州値

美しいスタイリングと スペース効率を徹底的に追求したキャビン

New C4は、旧型C4に比べてフロントグリルを大型化したほか、グリル内には新しいダブルシェブロンエンブレムを採用。引き締まったデザインのヘッドライトを装備するなど、取り回しのいいサイズの5ドアハッチバックボディのなかに、洗練された個性的なデザインを表現しました。

また、外寸の拡大を全長で+35mm、全幅で+15mm、全高で+10mm(いずれも旧型比)と最小限に留めながら、スペース効率を高めることで室内空間は一層ゆとりあるものとなり、大人4人がゆったり寛げるキャビンスペースと余裕あるラゲッジルームを実現しています。なかでも、運転席付近で1,457mmにもなる室内幅は広々としたショルダーク一部を生み出すとともに、運転席のヒップポイントから天井まで904mmもある室内高はヘッドクリアランスの拡大に貢献しています。また、2,610mmのホイールベースが作り出す後席のゆとりも自慢のひとつ(室内数値はメーカー測定欧州値)。さらに、トランクルームの容量は380ℓ*でクラス最大級、荷室幅も最大で1,027mmを実現しました。後席シートバックを起こした状態で877mmを確保した荷室長は、シートバックを倒すことで1,565mmまでの長尺物が積載可能となります。(*VDA方式)

■ ボディサイズ比較 ()内はNEW C4との比較数値 単位: mm

| | 全長 | 全幅 | 全高 | ホイールベース |
|---------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| NEW C4 | 4,330 | 1,790 | 1,490 | 2,610 |
| 旧型C4 | 4,295 (-35) | 1,775 (-15) | 1,480 (-10) | 2,610 (±0) |
| VW GOLF | 4,210 (-120) | 1,790 (±0) | 1,485 (-5) | 2,575 (-35) |
| PEUGEOT 308 | 4,290 (-40) | 1,820 (-30) | 1,515 (-25) | 2,610 (±0) |
| BMW 116i(5HB) | 4,240 (-90) | 1,750 (-40) | 1,400 (-90) | 2,660 (+50) |
| AUDI A3 | 4,290 (-40) | 1,765 (-25) | 1,430 (-60) | 2,575 (-35) |

DRIVE FEEL



快適な乗り心地と爽快なハンドリングの両立

その乗り心地が「魔法の絨毯」とも「ゆりかご」とも表現される、シトロエン独創の油圧サスペンション“ハイドラクティブ”。New C4ではより一般的な金属スプリング方式を採用しながら、このハイドラクティブに匹敵する快適な乗り心地を実現しました。大きなうねりがあってもフラットな姿勢を崩すことなく、路面からの衝撃を優しく受け止める足回りは、快適な乗り心地に長年こだわり続けてきたシトロエンだからこそ実現できたひとつの到達点。ロングツーリングはもちろんのこと、普段のちょっとした買い物でもその心地よさは実

感できるはずです。

しかし、ただ乗り心地がいいだけであれば、世界中にこれほど多くのシトロエンファンを生み出すことはなかったでしょう。そう、シトロエンの足回りが絶大な支持を集めてきたもうひとつの秘密は、正確かつスムーズなハンドリングにあります。ゆったりした乗り心地でありながら、ワインディングロードでは思いどおりのラインをトレース。この、快適性とハンドリングの卓越したバランスは、シトロエンでしか味わうことのできない至高の世界です。



ハイドラクティブでも、金属スプリングのサスペンションでも、シトロエンを名乗るからには快適な乗り心地を常に約束します。

サスペンションのさらなる熟成

定評ある、フロント:マクファーソン・ストラット式、リア:トーションビーム式サスペンションを踏襲しながら、サスペンション各部を改良、前後のトレッドを拡大しました。さらに、全車に新世代のミシュラン・タイヤを装着し、ダンパーの減衰力をこのタイヤに最適化することで、クラスを越えた快適な乗り心地を実現しました。また、比較的柔らかいスプリングと剛性の高いアンチロールバーを組み合わせることで質の高いロール制御を行ない、シャープな応答性を手に入れることにも成功。これにより緊急回避能力が一段と向上したほか、スポーツ・ドライビングも楽しめるようになりました。



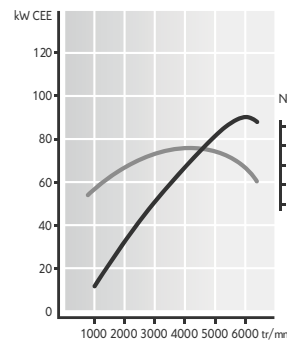
120psと156ps、2タイプの1.6ℓエンジン

New C4に搭載されるのは2タイプの1.6ℓエンジンです。Seductionには最高出力120ps/6,000rpm、最大トルク160Nm/4,250rpmを生み出すEP6C型自然吸気エンジンを搭載。リニアリティに優れた出力特性と、燃費を旧型比で6%向上させた高い経済性が自慢です。Exclusiveには、最高出力156ps/6,000rpm、最大トルク240Nm/1,400~3,500rpmを発揮するEP6CDT型ダイレクトインジェクション ツインスクロールターボ付き DOHC16バルブエンジンを採用。緻密な

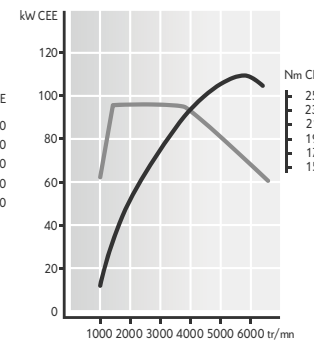
燃料噴射と連続可変バルブタイミングシステム、そして排気圧力を2系統に分けて効率の高い過給を行なうツインスクロールターボチャージャーにより、圧倒的なパフォーマンスと優れた燃費(旧型比:+25%)を両立させました。



156ps、240Nmを生み出すEP6CDT。



Seduction
1.6ℓ DOHC16バルブエンジン



Exclusive
1.6ℓダイレクトインジェクション
ツインスクロールターボ付き
DOHC16バルブエンジン

燃費性能を大幅に改善

Seductionの燃費は12.1km/ℓ、Exclusiveは13.1km/ℓで、旧型に比べそれぞれ6%、25%と大幅な燃費向上を達成しました(JC08モード、旧型は10:15モードからの換算参考値)。これは各部の軽量化を図ったことに加え、高効率のトランスミッションを採用したことによるものです。

エンジンとのマッチングを追求したギアボックス

エンジンにあわせて2タイプのオートマチック・トランスミッションを用意しました。最高出力120psのEP6C型エンジンを積むSeductionには、さらに改良を加えた4速オートマチックをチョイス。新型のトルクコンバーターを採用することで、よりスムーズなドライビング・フィールを実現しました。パワフルなEP6CDT型エンジンを搭載するExclusiveには、6速エレクトロニックギアボックスシステムの「6EGS」を装備。156psのパワーをダイレクトに引き出すことで、パフォーマンスの高さのみならず、優れた燃費も実現しています。



4速AT (Seduction)



6速EGS (Exclusive)

電動油圧ポンプ式パワーステアリング

どんな条件でも安心してドライビングを楽しむには、路面からのフィードバックを的確に伝えることが重要となります。ここでポイントとなるのがパワーステアリングの形式。New C4では、路面の状況が手に取るようにわかる油圧式を採用。さらに、その油圧ポンプを電動式とし、省燃費性も向上させました。



「現代社会では、いたずらにスピードを追い求めるのではなく、クルマのなかで過ごす時間をより充実させることが重要になっています」New C4のプロジェクト・マネージャーであるジェレミー・マエストラッチはそう語っています。

ドライバーと乗員にとって一層快適で、寛げる空間とするため、New C4ではインテリアの作り込みにこだわりました。まず、キャビンの上質感、精度の高さを徹底的に追求。ダッシュボードには柔らかな手ざわりのスラッシュ・スキンを採用するなど、クオリティの高い素材を投入するとともに、加工精度や組付け精度の点でも従来を大幅に凌ぐ基準を達成しました。また、

フロントウィンドウには遮音ラミネート加工を施したほか、エンジンルームに吸音材を配置するなど、シトロエンC5と同等の入念な遮音対策を実施。そのうえで心温まる演出を盛り込み、より充実した時間を車内で過ごせるように工夫しています。使いやすさの点でも妥協は許されませんでした。スイッチ類のレイアウトや操作方法はゼロから見直し、メーター類は見やすさに加えてドライバーの心理にまで踏み込んだデザインを採用。さらに、容量に余裕のある小物入れを随所に配置することで、ドライビングに集中できる快適な室内空間を作り上げました。



セグメント最大級の厚さを持つフロントウィンドウを採用するなどして室内の静粛性向上に取り組みました。

光が降り注ぐパノラミックルーフ

景色がパノラマのように広がるキャビンはロングツーリングを思い出深いものにしてくれるはず。そこでExclusiveには“もうひとつの窓”パノラミックルーフを標準装備。1.3㎡の開口面積は驚くような開放感をもたらします。さらに、赤外線と紫外線を和らげるスーパーティント加工を採用したほか、電動サンシェードを装備しています。(Seductionにオプションパッケージを設定)



優れた機能性を誇る大型センターコンソール

Exclusiveにはスライド式リッド付きの大型センターコンソールを装備し、500mlのペットボトルが4本入るスペースを確保。この部分には空調からの風を導くこともできます。また、全車にカップホルダーや小物入れを用意したほか、フロントドアのポケットは1.5ℓのペットボトルも収容できる大容量を誇ります。さらにフロント・アームレストの下にはCDが収まるスペースを設けました。



500mlのペットボトルが最大4本収納できるExclusiveの大型センターコンソールは、コンパクトなギアセクターと電動サイドブレーキの組み合わせによって実現しました。

380ℓ: クラス最大級のトランクルーム

トランクルームの容量は旧型を大きく上回る380ℓ。また、開口部の下部を低くし、荷室へのアクセスをより容易にしました。さらにExclusiveでは4人乗車のままスキーなどの長尺物を積めるトランクスルー機構も装備しています。

■トランクルーム容量

| NEW C4 | 旧型 C4 | VW GOLF | PEUGEOT 308 | BMW 116i(5HB) | AUDI A3 |
|--------|-------|---------|-------------|---------------|---------|
| 380ℓ | 352ℓ | 350ℓ | 348ℓ | 330ℓ | 370ℓ |





使い心地にこだわった操作系

ひと目ただけで精度の高さが実感できる操作系は、スイッチやノブの手触りやクリック感を見直すとともに、直観的に操作しやすいレイアウトとしました。エアコンはデュアルゾーンのオートマチックタイプを全車に標準装備。ビルトイン式PNDナビゲーションシステムやポップアップ式HDDナビゲーションシステムは販売店アクセサリとして用意されます。



ルームランプやパノラミックルーフ関連のスイッチは頭上にまとめてレイアウト。



直感的に操作できるデュアルゾーンのオートマチックエアコンを全車に標準装備。

ステアリングスイッチを採用

ステアリング操作に意識を集中させたままクルーズコントロールやオーディオを操作できるステアリングスイッチを採用。機能ごとにエリアを分割したレイアウトにより優れた操作性を実現しました。6EGSを採用するExclusiveにはパドルシフトが備わり、ステアリングから手を離さずに変速できます。デザイン面では上質さと精度感を徹底的に追求したほか、全車にレザーステアリングを標準装備しました。



身体にぴったりと沿う掛け心地のいいシート

シート作りで伝統的に高い評価を得てきたシトロエン。快適なロングツーリングを楽しめるよう、New C4では身体にぴったりフィットし、掛け心地が良く、奥行きにもゆとりのあるシートを新開発しました。Exclusiveには快適なロングドライブをサポートするアクティブランバーサポートを搭載。シート地はSeductionがファブリック、Exclusiveはレザー、スウェード素材のダイナミカ、ファブリックを組み合わせせたコンビネーションとなります。

新発想のデジタル+アナログメーター

運転席の真正面に設けられた3つの大型メーターは、視認性が高いだけでなく、シトロエンらしい獨創性に溢れています。まず、アナログメーターの内側にデジタル表示部を設け、様々な情報を瞬時に読み取ることを可能にしました。メーターを照明するカラーは好みに応じて5タイプに設定できます。さらに、各種警告音やウinkerの作動音を4つのタイプ(クラシック、クリスタル・シンフォニー、アーバン・リズムック、ジャングル・ファンタジー)から選べるなど、随所に機能性と楽しさを盛り込んでいます。



速度計を中心とした3つのアナログメーターの内側にデジタル表示部を設置。コンパクトなスペースに必要な情報を見やすくディスプレイしました。



メーターの照明色はドライバーの好みに応じて白色系からブルー系まで5段階に調整できます。

SAFETY TECHNOLOGY

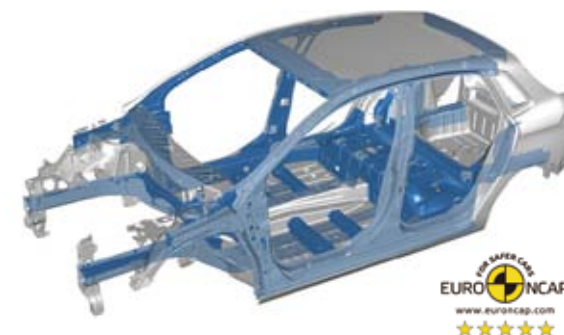
寛ぎと安心のためのセーフティテクノロジー

「New C4のために我々が開発したのは、毎日をより快適にするための、感性に訴えかけるテクノロジーです。とりわけ、車内で寛ぎ、リラックスしたひとときを過ごすという観点を大切にしました」New C4のプロジェクト・マネージャー、ジェレミー・マエストラッチの言葉です。

このコンセプトから導き出されたひとつの答え、それはアクティブセーフティの充実でした。死角に入った後続車の存在を知らせるブラインドスポットモニターシステム*や坂道発進を容易にするヒルスタートアシスタンス*はドライバーの負担を軽減。くわえて、フロントソナー*&バックソナーやパーキングスペースセンサー*も盛り込みました。また、電子制御ブレーキ圧配分シ

ステム、インテリジェントトラクションコントロール*などの機能を含むESPをABSとともに装備し、事故回避能力の向上に努めています。(*Exclusiveに標準装備)

万一のときには、衝突エネルギーを分散させる構造を取り入れた高強度ボディが乗員を保護。また、レーザー溶接を採用し、高張力鋼板と組み合わせることで高強度と軽量化を両立させました。さらに6つのエアバッグが連携して効果的に衝撃を受け止めます。こうした取り組みにより、New C4は欧州の自動車衝突安全テストEuro NCAPで最高評価の5つ星を獲得しました。



要所所に高張力鋼板を使用することで強固なボディを実現。Euro NCAPで最高評価の5つ星を獲得しました。New C4はシトロエンのミュールーズ工場生産されています。

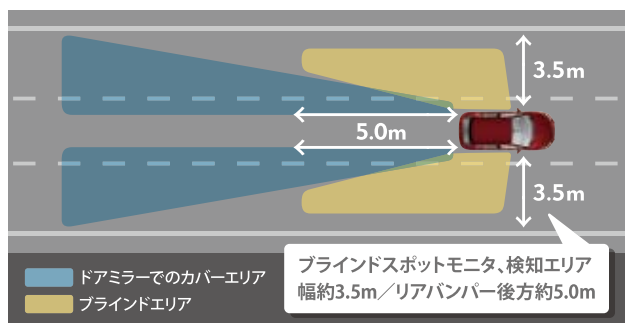
ブラインドスポットモニターシステム

斜め後方の死角に入った車両の存在を超音波センサーによって検知し、ドライバーに伝えるブラインドスポットモニターシステムを装備しました。検出できるのは車体側方の左右およそ3.5m、車体後方のおよそ5.0m以内の範囲。このエリアに他車が入ると、ドアミラー内部にオレンジ色のランプが光ってドライバーに警告を發します。

(Exclusiveに標準装備)



■ ブラインドスポットモニター検知エリア



ヒルスタートアシスタンス

坂道発進の際、ドライバーがブレーキペダルから足を離しても2秒間にわたり制動力を保持し、車両の後退を防ぎます。また、エンジンを止めると作動し、アクセルを踏み込むと解除されるエレクトリックパーキングブレーキも装備しました。

(Exclusiveに標準装備)



インテリジェントトラクションコントロール

雨、雪、氷など、滑りやすい路面を走る際、各駆動輪の滑りを検知、マネジメントします。ESPによる大幅なエンジン出力低下を抑え、一定のトラクションをかけることで脱出、走行をアシストします。(Exclusiveに標準装備)



パーキングスペースセンサー

縦列駐車の際、十分なスペースがあるかどうかを自動的に判断するパーキングスペースセンサーを搭載。駐車可能、困難、不可能をマルチファンクションディスプレイに表示します。また、ダッシュボード上のスイッチでシステムのON/OFFが可能です。(Exclusiveに標準装備)



フロントソナー/バックソナー

バンパー内の超音波センサーが障害物を検出し、音とディスプレイで警告。距離によって音の間隔は段階的に短くなり、さらに近づくと連続音となります。10km/h以下で作動。バックソナーは全車に標準装備、Exclusiveにはフロントソナーも装備されます。





C4 Seduction (セダクション)

車両本体価格 **2,560,000**円(消費税込)

1.6ℓ DOHC16バルブエンジン
最高出力 120ps/6,000rpm 最大トルク 160Nm/4,250rpm
4速オートマチック
16インチ アロイホイール&205/55 R16タイヤ

主な装備

- 6エアバッグシステム/ESP
- バックソナー
- 革巻ステアリング/ステアリングスイッチ
- 左右独立調整式オートエアコン(花粉フィルター付)
- フォグランプ(コーナーリングライト機能付)
- スーパーテンテッドガラス(後席サイド/リアクォーター/リア)



16インチアロイホイール



ファブリック(ラム)



C4 Exclusive (エクスクルーシブ)

車両本体価格 **2,990,000**円(消費税込)

1.6ℓダイレクトインジェクション ツインスクロールターボ付きDOHC16バルブエンジン
最高出力 156ps/6,000rpm 最大トルク 240Nm/1,400~3,500rpm
6速エレクトリックギアボックスシステム
17インチ アロイホイール&225/45 R17タイヤ

主な装備

- バイキセノンディレクショナルヘッドライト
- パノラミックガラスルーフ
- ブラインドスポットモニターシステム
- エレクトロニックパーキングブレーキ/ヒルスタートアシスタンス
- アクティブランバーサポート
- フロント&バックソナー



17インチアロイホイール



コンビネーション:ファブリック/ダイナミカ/レザー(ラム)



Blanc Banquise
ブラン バンキーズ



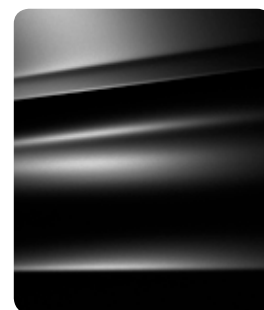
Bourrasque
ブルラスク



Rouge Babylone
ルージュ バビロン



Gris Shark
グリ シャーク



Noir Perlenera
ノール ペルラネラ



Brun Hickory
ブラウン ヒッコリー



Gris Aluminum
グリ アルミニウム

OPTION



パノラミックガラスルーフパッケージ
Seductionに設定

170,000円(消費税込)

- パノラミックガラスルーフ
(電動サンシェード/LEDアンビエンスライト付)
- 17インチアロイホイール



レザーパッケージ
Exclusiveに設定

250,000円(消費税込)

- ミストラル(ブラック)レザーシート
- フロントシートヒーター

ナビゲーション
(販売店アクセサリオプション)



ビルトイン式
PNDナビゲーション



ポップアップ式
HDDナビゲーション

主要諸元

| 機種名 | セダクション | | セダクション パノラミックガラスルーフパッケージ | | エクスクルーシブ |
|----------------|-------------|------------------|-----------------------------|------------------------|-------------|
| タイプ | 5ドアハッチバック | | | | |
| 型式 | ABA-B75F01 | | ABA-B75F01S | | ABA-B75F02S |
| ハンドル | 右 | | | | |
| トランスミッション | 4速オートマチック | | | 6速エレクトリックギアボックスシステム | |
| 寸法・重量 | | | | | |
| 全長 | mm | 4,330 | | | |
| 全幅 | mm | 1,790 | | | |
| 全高 | mm | 1,490 | | | |
| ホイールベース | mm | 2,610 | | | |
| トレッド前 | mm | 1,530 | 1,525 | | |
| トレッド後 | mm | 1,525 | 1,520 | | |
| 最低地上高 | mm | 145 | | | |
| 最小回転半径 | m | 5.3 | | | |
| 車両重量 | kg | 1,310 | 1320 | 1,370 | |
| 乗車定員 | 名 | 5 | | | |
| エンジン | | | | | |
| 型式 | 5F01 | | 5F02 | | |
| 種類 | 直列4気筒DOHC | | ターボチャージャー付き直列4気筒DOHC | | |
| 内径×行程 | mm | 77.0×85.8 | | | |
| 総排気量 | cc | 1,598 | | | |
| 燃料供給装置 | 電子制御燃料噴射装置 | | 電子制御コモンレール式筒内直接噴射 | | |
| 最高出力 | kw(ps)/rpm | 88 (120ps)/6,000 | | 115 (156ps)/6,000 | |
| 最大トルク | Nm(kgm)/rpm | 160 (16.3)/4,250 | | 240 (24.5)/1,400~3,500 | |
| 燃料およびタンク容量 | ℓ | 無鉛プレミアムガソリン・60 | | | |
| 燃料消費率※ | km/ℓ | 12.1 | 11.5 | 13.1 | |
| 動力伝達装置 | | | | | |
| 変速機 | 4速オートマチック | | | 6速エレクトリックギアボックスシステム | |
| クラッチ形式 | 3要素1段2相形 | | | 乾式単板ダイヤフラム | |
| 変速比 | 第1速 | 2.724 | | | 3.538 |
| | 第2速 | 1.499 | | | 1.920 |
| | 第3速 | 1.000 | | | 1.322 |
| | 第4速 | 0.710 | | | 1.025 |
| | 第5速 | — | | | 0.822 |
| | 第6速 | — | | | 0.680 |
| | 後退 | 2.457 | | | 3.307 |
| 最終減速比 | 4.701 | | | 4.052 | |
| 駆動方式 | 前輪駆動 | | | | |
| ステアリング形式 | ラック&ピニオン | | | | |
| ブレーキ形式 | 前 | ベンチレーテッドディスク | | | |
| | 後 | ディスク | | | |
| ABS | 有 | | | | |
| サスペンション | | | | | |
| サスペンション | 前 | マクファーソン・ストラット式 | | | |
| | 後 | トーションビーム式 | | | |
| タイヤ | 前・後 | 205/55 R16 | 225/45 R17 | | |
| ホイール | 前・後 | 7.0J×16 アロイ | 7.5J×17 アロイ | | |

※数値は国土交通省が認めたフランスの試験機関(UTAC)によるJC08モードでの測定値です。実際の走行時には気象、道路、車両、整備などの状況に応じて燃料消費率は変動します。

主要装備

| 主要装備 | セダクション | セダクション パノラミック ガラスルーフパッケージ | エクスクルーシブ |
|---|--------|---------------------------------|------------------|
| セーフティ/セキュリティ | | | |
| 6エアバッグ (フロント/フロントサイド/カーテン) | ● | ● | ● |
| アンチロックブレーキシステム (EBD電子制御制動分配機能) | ● | ● | ● |
| ESP (エレクトロニックスタビリティプログラム) | ● | ● | ● |
| インテリジェントトラクションコントロール | — | — | ● |
| ブレーキアシスト | ● | ● | ● |
| ブラインドスポットモニターシステム | — | — | ● |
| エレクトリックパーキングブレーキ/ ヒルスタートアシスタンス | — | — | ● |
| フロントシートベルトプリテンショナー/ フォースリミッター | ● | ● | ● |
| シートベルトフォースリミッター (後席左右) | ● | ● | ● |
| チャイルドシートISOFIXアンカー (後席左右) | ● | ● | ● |
| バックソナー | ● | ● | ● |
| フロントソナー/ パーキングスペースセンサー | — | — | ● |
| トランスポンダー式盗難防止 イモビライザー | ● | ● | ● |
| オートドアロック/スーパードアロック | ● | ● | ● |
| エクステリア | | | |
| バイキセノンディレクショナル ヘッドライト(ウォッシャー付) | — | — | ● |
| オートヘッドライト | ● | ● | ● |
| フロントフォグランプ (コーナーリングライト機能付)/ リアフォグランプ | ● | ● | ● |
| 雨滴感知式オートワイパー/リアワイパー | ● | ● | ● |
| 熱線入り電動格納式ドアミラー | ● | ● | ● (リバース連動機能付) |
| スーパーティンテッドガラス (後席サイド/リアクォーター/リア) | ● | ● | ● |
| クロームデコレーション (サイドウィンドウ&リアバンパー/ フロントグリル&フォグランプ) | ●/— | ●/— | ●/● |

| 主要装備 | セダクション | セダクション パノラミック ガラスルーフパッケージ | エクスクルーシブ |
|--|------------|---------------------------------|--------------|
| パノラミックガラスルーフ (電動サンシェード/ LEDアンビエントライト付) | — | ● | ● |
| インテリア | | | |
| 革巻ステアリング/ステアリングスイッチ | ● | ● | ● |
| パドルシフト | — | — | ● |
| クルーズコントロール& スピードリミッター(メモリー機能付き) | ● | ● | ● |
| 左右独立調整式オートエアコン (花粉フィルター付) | ● | ● | ● |
| カラー調整式インストルメントパネル | ● | ● | ● |
| 選択式ウォーニングサウンド | ● | ● | ● |
| 自動防眩式ルームミラー | ● | ● | ● |
| 大型センターコンソール | — | — | ● |
| 12V電源ソケット(ラゲッジルーム) | ● | ● | ● |
| ルームランプ/マップランプ | ● | ● | ● |
| フロントフットランプ | — | — | ● |
| ドアステップガード(クローム) | — | — | ● |
| エマーゼンシートチ | ● | ● | ● |
| シート | | | |
| シート表皮 | ファブリック(ラマ) | ファブリック(ラマ) | コンビネーション(ラマ) |
| レザーシート/フロントシートヒーター | — | — | △ |
| シートハイトアジャスター(運転席/助手席) | ● | ● | ● |
| ランバーサポート | ● マニュアル | ● マニュアル | ● アクティブ |
| センターアームレスト(フロント/リア) | ●/— | ●/— | ●/● |
| 6:4分割可倒式リアシート | ● | ● | ● |
| オーディオ | | | |
| 6スピーカーAM/FMチューナー付 CDプレイヤー(USB付) | ● | ● | ● |
| 足回り | | | |
| アロイホイール 16インチ | ● | — | — |
| アロイホイール 17インチ | — | ● | ● |
| スペアタイヤ | ● (16スチール) | ● (16スチール) | ● (スペースセイバー) |

● 標準装備 △ レザーパッケージ (受注生産)

CITROËN PRESS ROOM



シトロエンプレスルームにご登録ください。

広報資料に掲載されている写真がダウンロードできる他、シトロエンよりプレスリリースやインフォメーションを自動配信させていただきます。

シトロエンプレスルーム
<http://www.citroen.jp/press/>



本件に関するお問い合わせは

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社 広報部

〒150-0011 東京都渋谷区東3丁目16番3号 エフ・ニッセイ恵比寿ビル

TEL 03-5468-1311 Fax 03-5468-1327 E-Mail: publicity@citroen.jp

SUPPORT PROGRAM

購入後も安心。シトロエンのサービスです。

CITROËN ASSISTANCE

それは安心してお乗りいただくための、365日24時間無料サポートです。登録後3年間は走行不能、または安全な走行が困難となった場合、ドライバーや同乗者の方に費用を負担していただくことなく、安心のアシスタンスサービスをご提供いたします。

CITROËN EXTENDED WARRANTY

所定の契約料で、3年間の「新車保証」と「シトロエン・アシスタンス」を4年または5年まで延長できるプログラムです。

3YEAR WARRANTY

新車を登録した日から3年間、走行距離を問わず、一般走行における不具合を保証します。※ただし、油脂類、消耗品類は除きます。また純正オーディオ(カーラジオ・CDチェンジャー)およびバッテリーは新車登録日から1年間

CITROËN FINANCE

お求めやすい条件でオーナーライフを始められる、シトロエン専用のファイナンスプログラム「シトロエン・ファイナンス」をご用意しています。

CITROËN MAINTENANCE PROGRAM

定期点検はもとより、交換部品や交換費用までカバーする安心のメンテナンスパッケージ「シトロエン・メンテナンス・プログラム」をご用意しております。(別途、所定の契約料が必要となります。)

CITROËN PASSPORT

車両代金の一部を据え置き、月々のお支払い額を抑えたローンで、オーナーシップがより身近になるプログラムです。